

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【公表番号】特表2005-527896(P2005-527896A)

【公表日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2005-036

【出願番号】特願2003-582615(P2003-582615)

【国際特許分類】

G 06 F 21/24 (2006.01)

H 04 L 9/10 (2006.01)

【F I】

G 06 F 12/14 5 4 0 A

G 06 F 12/14 5 4 0 P

H 04 L 9/00 6 2 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月8日(2006.3.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

チップカードのメモリー(4)に格納され暗号化キーを用いて事前に暗号化されたデジタルデータを保護する方法であって、前記暗号化キーは、チップカードに本質的に備えられたオペレーティング・パラメータの少なくとも一つの関数として動的に定められていることを特徴とするデジタルデータの保護方法。

【請求項2】

チップカードのメモリー(4)に格納され暗号化キーを用いて事前に暗号化されたデジタルデータを保護するための装置であって、前記チップカードに本質的に備えられたオペレーティング・パラメータの少なくとも一つの関数として前記データを暗号化するキーを定義する計算モジュール(10)が備えられたことを特徴とするデジタルデータの保護装置。

【請求項3】

データ処理のための中央処理ユニット、データを格納する少なくとも一つのメモリー、前記デジタルデータを暗号化するための暗号化モジュール(6)および前記データを暗号化するキーを少なくとも一つ計算するための計算モジュール(10)を備え、前記計算モジュール(10)は、前記メモリー(4)に本質的に備えられたオペレーティング・パラメータの少なくとも一つを関数として暗号化キーを定義する手段と、格納されたデータの各読み取りにおいて前記暗号化キーを動的に再計算する手段とを備えたことを特徴とするアクセスコントロールカード。